

公益社団法人 隊友船橋だより

令和5年 6月号 発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

047-434-2015

『令和4年度船橋支部通常総会は5月26日(金)10時から12時、習志野駐屯第2会議室で開催
議案全て参加者18名全員の賛成により承認可
決されました。議事録を報告します』

第1号議案 令和4年度事業報告(事務局長 岡本)

1 全般

令和4年度は、コロナ禍の為、計画通りに事業を行うことができなかった。

その中においても11月27日(土)9時半から11時にかけて実施された大穴地区「嗚呼海軍七勇殉難の跡碑」の草刈り清掃奉仕と第81回忌慰霊法要には19名が参加され、船橋支部西部理事七勇碑代表世話人丸山光則氏により厳かに執り行われた。

更に、毎月、習志野駐屯地において隊友機関紙の配布作業と会議を実施し(約150部)各分会長が会員に直接手渡し配布する等、情報交換をしている。

又、千葉県隊友会行事千葉県護国神社秋季例大祭前清掃奉仕参加3名。部隊研修木更津へり団参加3名する等千葉県隊友会他の支部会員との交流、情報交換し、会の活性化に繋げた。

千葉県との防災協定により8月31日9都市防災訓練では千葉県葛南地区防災倉庫から救援物資搬出実動訓練参加、船橋支部7名。(他に大根事務局長、習志野支部2名、市川支部1名、下志津駐屯地隊員2名、大型トラック両)

2 成果

(1) 公益目的事業の推進

ア 防衛意識の普及高揚

富士総合火力演習の見学は中止。

イ 部隊情報入手と意志の疎通

コロナ禍の為出来なかった。

ウ 公益事業における無償役務の提供

公益事業における無償役務の主要実績は、次のとおり。

事業名	項目	小項目	備考
防衛意識の普及高揚	その他	地域住民への広報 (富士総火演見学)	中止
自衛隊に協力	平素の隊務への協力	家族支援協力	6月訓練実施
		引越見積支援サービス	7月・3月
		空挺館周辺の除草等整備	中止
緊急時における自治体等に協力	平素の協力	町内防災訓練に参加、協力	中止
自治体の諸行事に協力	平素の協力	・地域の陸上競技支援 ・マラソン・ウォーキング支援 ・習志野演習場マラソン支援	中止
		町内防犯パトロール活動	・岡本事務局長他分会長・会員
地域の健全な発展に協力	青少年の育成に対する協力	千葉県銃剣道連盟理事長	中止
		福祉施設慰問	中止
		スポーツ少年団空手指導 剣舞	・青木豊富副分会長
		千葉病院書道指導	・窪高根分会長 ・岡本事務局長
		交通安全登下校時監視 (スクールガード)	・各地域の会員
		地域スポーツ指導、行事の協力・支援	中止

	環境保護に協力	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路、公園等の清掃実施 ・町内秋のクリーン作戦参加（庭の除草、木伐採等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡本事務局長 ・丸山理事 他分会長
殉職自衛官、戦没者等の顕彰事業		<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県護国神社の清掃及び、慰霊祭支援 	<ul style="list-style-type: none"> 春：奉昇 ・縮小開催 ・清掃春秋河野分会長 木村分会長 長内副分会長 岡本事務局長
		大穴海軍七勇士碑の清掃供養	<p>北部地区が主に支部会員有志。</p> <p>7月6日 15名</p> <p>8月11日 10名</p> <p>11月27日 19名</p>

エ 船橋だよりの発行

一時停止。

オ 支部の活動状況を「千葉県隊友会ホームページ、隊友千葉たより」に掲載した。

カ 船橋市民活動サポートセンター（JR船橋駅前フェイスビル5階）の活用
会議資料の作成及び印刷。

キ 部隊指揮官及び隊員との意見交換

(ア) 習志野駐屯地行事すべて中止。

(イ) 月々の隊友新聞配布・折込み時期等の活用は、できなかった。

(ウ) 駐屯地記念日、忘年会、OB会等の活用中止。

(2) 支部の充実強化

ア 会勢の充実

(ア) 会員の現況令和5年3月1日現在 総員 211名 (特別会員 8名含む)

(イ) 内 訳

a 正会員 203名

b 特別会員 8名

(国会議員 1名、 県会議員 4名、市議会議員 2名、元国会議員 1名)

(ウ) 令和4年度船橋支部入会者 12名

(エ) 御入会お目出とう御座います。

船橋支部発展の為、お力添えをご期待申し上げます。

氏名	(分 会)	最終部隊
高田 正	(丸山・藤原分会)	第1高射群第1高射隊(習志野)
関谷 拓郎	(習志野台分会)	第49普通科連隊(豊川)
岡林 弘己	(前原分会)	千僧駐屯地業務隊(千僧)
鹿嶋 祐介	(行田・夏見分会)	富士学校普通科(富士)
笠井 伸好	(大穴分会)	第1空挺団3普大本部(習志野)
竹下 一敏	(薬円台分会)	第1空挺団特大本中 (習志野)
堀口 大輔	(二宮・飯山満分会)	空挺教育隊 (習志野)
相原 正人	(宮本・本町分会)	中央業務支援隊(市ヶ谷)
岩井 隆浩	(薬円台分会)	第1空挺団1普大 (習志野)
板垣 正孝	(二和・咲が丘分会)	第1空挺団特大本中(習志野)
川村 浩和	(西船分会)	北方後方支援隊(島松)
西村 忠道	(薬円台分会)	第1空挺団後支本(習志野)

イ 活動組織等の現況

支部は、支部本部、北部地区、東部地区、西部地区、15分会で活動しており、

正会員の編成は次表のとおり。

分会名	会員数	分会名	会員数	分会名	会員数
小室・豊富	8(手配り)	習志野台	20(手配り)	丸山・藤原	13(郵送)
二和・咲が丘	16(手配り)	薬円台	23(手配り)	行田・夏見	10(手配り)

大穴	4(手配り)	西習志野	8(手配り)	宮本・本町	19(手配り)
松が丘・坪井	6(手配り)	二宮・飯山満	11(手配り)	海神	7(郵送)
金杉・緑台	3(郵送)	前原	10(郵送)	中山	8(郵送)
高根	8(手配り)	三山・田喜野井	19(手配り)	西船	10(郵送)

ウ 支部財政の確保

主な収入は、分会長等による隊友新聞の折込み、チラシ配布の助成金である。

令和3年7月から「引越支援見積支援」事務費用一部が補助される。

隊友新聞の手配布は正会員 203 名中、151 名、配布率は約 74,3%である。

高齢化の為、無理にお願いできないが上記の補助金で運営しているので、分会長不在「金杉・緑台」「前原」「丸山・藤原」「海神」「中山」「西船」の六分会は分会長候補者を探し手配りできるよう個別調整にあたる。

エ 支部の広報

富士総合火力演習見学中止、公益事業における無償役務縮小、予備自衛官招集訓練の講習、駐屯地夏祭り中止、毎月の新聞折り込み時等の実施。

第2号議案 令和4年度会計決算報告(会計理事 宮嶋)

収入の部	単位:円
前年度繰越金	234,080
県本部助成金	127,010
引越見積支援還付金	14,291
合計	375,381

支出の部

事業費	ポストカード、葉書	990
	コピー用紙	3,947
	封筒、ラベル、レジ袋	7,229
	インクカートリッジ	9,535
	カレンダー	13,500
	引越支援	5,060

	作業、会合等経費(お茶代駐車場料金)	10,071
通品毘	郵送(災害情報、あんない、その他)	2,793
印刷費	船橋だより	1,220
	会議資料	1,740
	災害情報連絡員資料	500
渉外費	顕彰状額	2,641
	香典、弔慰金	1,100
	空挺団広報御礼(夏、冬)	10,000
	空挺団訓練始め激励酒(自衛隊協力)	10,152
	習志野駐屯地夏祭り花火大会協	0
小計		80,478
時期繰越金		294,903
合計		375,381

時期繰越金内訳 現金:253,966

預金:40,937

第3号議案 令和4年度会計監査報告(会計監査役 神谷)

令和4年度千葉県隊友会船橋支部の、会計報告、帳簿、貯金通帳の収支関係及び領収書等関係帳票類の照合の上、会計監査を実施した結果、詳細正確に記帳されており会計報告の通り相違ありません。

令和5年 3月31日(木)

会計監査役 神谷 功 ⑩ 山田 彰 ⑩

第4号議案 令和5年度事業計画（事務局長 岡本）

1 方針

支部は、国の防衛施策を理解し、市民と自衛隊のかけ橋として防衛意識の高揚に努め県の防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の活動に積極的に参加し、「自分達の国は自分達で守る」という防衛基盤の育成に努め、コロナ禍、感染対策を厳格に三蜜を避け活動する。

このため、町内会地域の公益目的事業には積極的に参加するとともに、会活動の活性化及び会基盤の充実強化を図るため、毎月、情報交換、部隊状況の把握、上級曹長等に対する理解を深める。更に会員相互の福祉と親睦のため、新聞配達時には会員との直接声掛けを実施励行し会の魅力化を図る。

2 重視事項

(1) 公益目的事業の推進

ア 防衛・防災意識の普及高揚

(ア) 富士総合火力演習の見学。

(イ) 自衛隊音楽祭り鑑賞会。

(ウ) 防衛・防災講演会の協力。

(エ) 防衛セミナー等への積極的参加、市民への積極的な勧誘に努める。

(オ) 意見交換の実施

a 会員同士の情報交換、健康状態の把握、支部総会、懇親を深める。又、習志野駐屯地の諸行事にも積極的に参加する。部隊の激励会、同志会、OB会、地域の盆踊りや防災訓練に参加し、あらゆる場を活用し、会員、市民の防衛に関する関心を高めるよう努める。

b 習志野駐屯地最先任上級曹長、習志野各部隊長、国会議員、県会議員、市会議員等との懇談に努める。

(カ) 家族支援(6月)

(キ) 引越支援(7月・3月)

イ 防災意識の普及高揚

(ア) 隊友新聞の折り込み作業時等を活用し、防災ボランティアに対する意識の普及高揚を図る。

(イ) 県、市及び町内会が実施する防災訓練等に積極的に参加する。

(ウ) 県・市防災センター等での研修を実施する。(時期未定)

(エ) 習志野、八千代、市川近隣支部との積極的な情報交換の推進。

ウ 習志野自衛隊の諸業務、主要活動に対する協力・支援。

(ア) 国際貢献活動、災害派遣に従事する場合の激励・慰問等の実施。

(イ) 駐屯地創立記念日、空挺同志会、盆踊り、降下訓練始め行事に参加。

(ウ) 予備自衛官に対する講話の実施。

エ 殉職自衛隊員及び戦没者等の慰霊顕彰・援助。

(ア) 空挺館の語り部、清掃等の実施

(イ) 千葉県護国神社春秋例大祭前の清掃ボランティアの参加、支援

(ウ) 大穴の海軍7勇士碑の清掃、供養の実施(6月11日・8月20日・11月27日)

オ 地域活動への参加・協力

(ア) 千葉県銃剣道連盟、青少年剣道、書道、空手等の指導育成

(イ) 県・市内各地区で開催される競技会、体育大会等支援

(ウ) 町内会防災訓練参加。

(エ) スクールガード、防犯パトロール推進活動。

(オ) クリーン作戦参加。

(2) 支部の充実強化

ア 毎月、習志野自衛隊での隊友新聞配布時期等を活用し、空挺団長等部隊指揮官、最先任上級曹長、幕僚との連携強化と隊友会の説明に努め、会員相互の意志の疎通により、支部の充実強化を図る。

イ 空挺同志会、船橋市自衛隊協力会、父兄会等との関係を維持、協力する。

ウ 「船橋だより」を継続し情報の伝達と意思の疎通を図る。このため、各分会役員からの会員の紹介、地域の細部情報等、記事の投稿により 内容の充実

を図る。(2ヶ月1回)

エ 入会者の確保

個人情報保護法の壁が活動を大きく制限するが、入会案内資料を配布し、勧誘入会につなげる。

オ 福祉と親睦のための事業を推進

(ア) 会員の消息情報の通報(転居死亡時等)

(イ) 叙位叙勲等の推薦

カ 支部経費の確保

(ア) 隊友新聞の手配布

(イ) その他、各種創意工夫により努める。

3 主要な業務予定

(1) 富士総合火力演習見学。

(2) 習志野自衛隊で隊友新聞の折り込み(毎月1回22日前後)

(3) 船橋だよりの発行(2ヶ月に1回を目標)

(4) 総会(5月下旬)新入会員紹介懇親会(転入会員含む)及び習志野駐屯地先任曹長との懇親。

(5) 忘年会(11月初旬又は12月初旬)細部未定。

第5号議案 令和5年度予算 (事務局長 岡本)

1. 県本部からの補助金の範囲内で運用する。

2. 行事開催においては会費制を取り船橋支部会計からは支援しない。

第6号議案 役員等の交代 (事務局長 岡本)

会計監査役 新任 山田 彰 **退任 神谷功**

令和4年度叙勲者紹介 (事務局長 岡本)

御目出とう御座います。

令和3年10月 瑞宝双光章 箭竹 貴志

(二和・咲が丘分会)

物故者 (事務局長 岡本)

御生前は一方ならない御支援ご協力に感謝すると共にご冥福をお祈り申し上げます。

氏名	所属分会	最終部隊	逝去日
村上 芳夫	(享年90歳)小室・豊富分会会	技官 習志野業務隊	令和4年6月14日
濱島 誠 (享年歳)	習志野台分会	海 館山航空基地隊	令和4年3月15日
渡辺 實 (享年87歳)	習志野台分会	陸 木更津業務隊	令和4年6月18日
浅沼周二 (享年94歳)	二宮・飯山満分会	陸 第32普通科連隊	令和4年9月 日
小林正信 (享年)	丸山・藤原分会	陸 (第9代第一空挺団長)	令和4年12月11日

総会でお配りしました資料の中で以下を訂正してお詫びいたします。

7 ページ(2)(ア)総員 236 名は誤りで正しくは 211 名です。

同上 (イ)内訳 a 正会員 202 名は誤りで正しくは 203 名です。

同上 b 特別会員市議会議員 3 名は誤りで正しくは 2 名です。

8 ページ入会者板垣正孝 (二和・松が丘分会) は間違いで正しくは (二和・咲が丘分会) です。

9 ページ分会員数宮本・本町分会 18 は誤りで正しくは 19 です。

(事務局)